

万城, 松島。神原: 梨畑, 溝の田, 見遠, 向方, 足瀬, 大久那, 大河内, 倉ノ平, 峠山, 中久那, 中河内, 坂部, 中組, 太田), 松川町(大島: 名子),

秦阜村(大畑, 栃城)。

フシノキノミ 売木村(南部第一)。 (続く)

国際植物バイオシステムクス・シンポジウム

今年(1989年)の7月に, 第4回国際植物バイオシステムティックス・シンポジウム(4th International Symposium of Plant Biosystematics)が日本で京都を舞台として開催されることになった。

このシンポジウムは, 種生物学会, 日本植物分類学会, 日本雑草学会3学会の共催で, 日本でこのような大会が開催されるようになったことは大変喜ばしいことである。組織委員会の委員長は種生物学会の会長である京都大学理学部の河野昭一教授で, 開催時期は7月10日(月)から14日(金)まで, 開催場所は京都会館である。シンポジウムの公用語は勿論英語で, 主要議題は次の3題である。

(1) Biology and Evolution of weeds and Weed Crop Complexes.

(2) Molecular Approaches in Plant Biosystematics

(3) Population Biology and Life History Evolution

第3の議題は, さらに次の2小議題に分かれる。

1. Reproductive Biology of Plants

2. Demography and Life History Evolution of Plants

開催母体は国際種生物学会(The International Organization of Plant Biosystematists)。この国際種生物学会は20年以上前に創立された学会で, 当時米国のコロラド大学の教授であったÅskell Löve 教授と教授夫人の Doris Löve 博士の努力によって設立された国際学会で, 創立当初会長役はコペンハーゲン大学の Tyge W. Böcher 教授がされていたと記憶している。

A. Löve 博士はアイスランド生まれでスウェーデンのルント大学で Ph. D. と S. D. の学位を取得されて, しばらくの間, カナダのモントリオール大学(Université de Montréal)で教授をされ, それから米国に移られてコロラド大学(University of Colorado)の教授をされた。今回の組織委員長の河野教授はモントリオール大学大学院生時代に Löve 教授の研究室に所属されて, 北海道の高

山帯の植物について分類・地理学的な研究をされていたので, I. O. P. B. とは特に縁が深い。本紹介者が旭川に居たころ Löve 教授夫妻と河野博士が来訪されて, 大学の車で大雪山の高山植物帯をご案内したことがある。そのとき, Löve 博士夫妻が植物学のみならず民族学に非常に造詣の深いことを知って, 欧米の学者の知識の幅の広さに驚いたものである。博士は1974年に日本で国際植生学会が開催された際にも日本に来られた。その時は予算の関係で夫人は米国で留守番をしているとのことでお一人であった。その時の米国からの参加者は博士の他には, 当時国際植生学会の副会長であった W. S. Benninghoff 教授および P. Whitford 教授の計3名で, 私は Benninghoff 教授とも以前に大雪山の高山帯やブナの北限地帯(黒松内)を一緒に歩いた仲なので, 北海道でのエクスカージョンの際, 札幌のセンチュリーロイヤルホテルと層雲峡のホテル層雲でのディナー・パーティーにご招待いただき, 楽しい一時を過ごすことができた。特に, 層雲峡では, ディナー後, 他の行事を欠席され, 米国からの3名と私と妻の5名で, リンドウ科植物の系統に関してや, 植物の種子や花粉を走査電顕で観察する技術について話の花を咲かせた。Löve 教授は夫人と共にリンドウ科の分類に関しては学生時代からずっと興味を持たれていて, 幾編かの論文をかかれており, 私が1961年に設立したサンプクリンドウ属(Comastoma)を設立者の私を除いて, 世界で最初に採用された人でもある。話はだいぶ横道にそれてしまったが, I. O. P. B. という名を聞くと先ず, Löve 教授を思い出す。日本でのシンポジウムの成果を期待したい。

なお, このシンポジウムの正式テーマは「バイオシステムティックスにおける生物学的研究アプローチ植物における進化の傾向を探る」である。セカンド・サーキュラーなどの, シンポジウムの資料請求先は下記の通りである。

〒606 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部植物学教室河野研究室内
第4回 IOPB 国際シンポジウム組織委員会
(豊国秀夫)